

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和3年1月18日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4676100219
法人名	医療法人健秀会
事業所名	グループホームどんぐりの里
所在地	霧島市隼人町真孝113-1 (電話) 0995-44-6934
自己評価作成日	令和2年12月11日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	令和3年1月14日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ①家庭的な雰囲気の中で入居者の方々には晩年を過ごしていただくこと
- ②隣接のたまいクリニックで医療的サポートが十分に行えること

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームは、平成18年に法人母体の医療機関(ホームの協力医療機関)に隣接して設置されており、周辺にはスーパーマーケットや個人商店、自動車会社、小・中学校、マンション、個人住宅等が立ち並んでいて利便性も十分である。平屋構造のホームは幹線道路から少し入っているため、日当たりが良く静かな環境である。協力医療機関とは常に情報を共有し協力体制を築いており、健康管理や疾病の治療等が徹底されて利用者や家族の安心に繋がっている。また、防災訓練、職員研修、給食委員会等を合同で開催して運営やサービスの向上に取り組んでいる。

管理者及び職員は理念に沿って、利用者が家庭的な雰囲気の中で生きがいと笑顔に満ちた平穏な暮らしとなるような支援に日々努めている。日頃から利用者及び家族の思いや要望の把握に努め利用者主体のケアに取り組んでおり、厚い信頼関係が築かれている。また、年間の外出や行事を計画し、利用者の意向や体調に配慮しながら取り組んできているが、現在は新型コロナウイルス感染の予防のため、外出計画や地域のイベントの多くが中止になっている。このような状況下の中で、家族との交流を図るために畳1畳大の透明パネルの設置やリモート、電話等工夫して面会や会話の機会を設け、また、生活リハビリを楽しく取り組めるメニューにして利用者のリフレッシュを図っている。

管理者は、職員と気軽に意見を言い合える信頼関係と協力体制を構築しており、日頃の業務の中やミーティング時に積極的に意見や要望の把握に努め、個人的事情にも配慮しながらサービスの向上や働きやすい職場環境の整備に、施設長とも協議しながら取り組んでいる。有給休暇取得の促進やケアに関する助言・指導、スキルアップを図る研修の実施、資格取得へのバックアップに日頃から努めており、資格取得や外部研修時の受講料等には法人の助成制度もあり職員の就労意欲向上に繋がっている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	ミーティングを開催して理念の共有をしている	理念はケアの姿勢と共にホーム内に掲示して共有を図り、申し送りやミーティング時にケアの振り返りや研修の実施、意見交換等を行って、理念に添った支援の実践に努めている。また、職員は理念に基づき個人の年度目標も設定してサービスの向上に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域とのつながりに努めているが交流は不十分である	地域の情報を把握し、地域のイベント（浜下りや馬踊り等）に参加し、ホームの行事には家族や地域住民の参加が得られ、ボランティアや学生の職場実習、住民の施設見学等を積極的に受け入れ、散歩や買い物時には住民との会話を楽しむなど地域との良好な関係が構築されているが、現在は、新型コロナウイルスの感染予防のため、家族の面会及び訪問美容以外の外部との交流は自粛している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	新型コロナ禍の現状もあり十分に行えていない		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	新型コロナ禍の為、開催は出来ないがご家族と電話や短時間の面会時に情報提供している	従来、会議は隔月毎に開催し、家族、民生委員、行政職員等が出席して、ホームの現況や利用者の状況、ヒヤリハットや防災に関する報告を行い、委員からはケアに関する質問や意見等が出されてサービスの向上に取り組んできたが、本年度は新型コロナウイルスの感染予防のため、一堂に会するのは控え電話や短時間の面会時に状況を説明して意見をもらい、改善に繋げている	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	行政、市担当者と運営推進会議、情報交換を行って連携している		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	月に1回定期ミーティングして勉強会を実施しており身体拘束をしないようにしている	身体拘束や高齢者虐待、権利の擁護については、3か月ごとに適正化を図る委員会を法人全体で開催し、施設内研修の実施やケアの振り返り、意見交換等で認識を共有している。職員は日頃から見守りや対話、寄り添いに努め、常に言葉遣いにも留意し、利用者の思いに沿った自由な暮らしの支援に努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定期ミーティングにて虐待防止に取り組んでいる		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	外部勉強会を利用して高齢者の権利擁護に対する理解を深めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	施設長やケアマネより契約に関する書類の説明、交付をご家族に行い、同意のもとサイン・印鑑を頂いている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族、利用者様など毎月の入居報告や面会時やTELにて意見を頂き運営に反映している	利用者の意向は日頃の会話や仕草、独自のサイン等で理解し、家族からの意見、要望は面会や行事、家族会、運営推進会議、電話、毎月発行の便り等で利用者の状況を伝えながら聞き取りに努めてきているが、現在はコロナウイルスの感染予防に配慮して、イベントや会議等の開催は自粛し、短時間の面会や電話、リモート、お便り等で要望等を把握して改善につなげている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティング時に皆の意見を聞いている	管理者は日頃から気軽に意見を言い合える信頼関係を構築しており、業務の中や申し送り、ミーティング時に意見、要望等を聞き取り、必要に応じて個人面談も実施して業務改善に取り組んでいる。スキルアップを図る研修の実施や有給休暇の取得促進、勤務シフトに個人的事情も配慮する等、働きやすい職場づくりに努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	全体朝礼や定期ミーティングの時に意見交換している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内では全体朝礼への出席、ホーム内ではミーティング時に新人職員へ法人の理念を伝えている</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>外部研修会の出席の機会を作るようにしている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人が困っていること不安なことを気軽に話して頂ける環境を作り又要望等に耳を傾けながら本人が安心して過ごせる関係づくりに努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	御家族様が気軽に話しかけられる雰囲気を作り相談事など躊躇される事なく話して頂ける様に努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	情報収集時に必要とする支援を見極めより良いサービス提供が出来るように努めている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者様の考えと御家族様の気持ちを尊重し家庭的な雰囲気になるよう努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	最近の状況を御家族様へお話をし御家族様の意向を聞き入れ共に同じ方向性を持てるような関係を築いている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	知人の訪問は短時間ではあるがして頂き話しやすい環境作りして再訪問したいと思えるように努めている	入所時の聞き取りや日頃の利用者との会話、家族からの情報等で利用者毎の馴染みを把握し、散歩や買い物、通院、墓参、美容室利用等を家族と協力して取り組んできているが、新型コロナウイルス感染予防のため、現在は訪問美容以外の外部の人との交流は自粛し、家族とは大型パネル越しの面会やリモート、お便り、電話の取り次ぎ等の工夫で関係の継続に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様同士の関係を考慮してレクリエーションを行い一人ひとりが孤立しないように支援している		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居され方でも要望や相談があれば親身になりサービスや病気の事などフォローしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	意見を聞き取りプランに反映している。本人の立場に立った意向の把握にも努めている	日頃の会話や寄り添い、独自のサイン等で利用者の思いを把握し、一日一日を大切にしながらの暮らしとなるよう家族の意向も伺いながら取り組んでいる。余暇時間も利用者の意向や残存機能に配慮しながら、趣味（ぬり絵、テレビ視聴他）やテーブル拭き等の取り組みをプランにも組み入れて個別に支援し、それらの成果には言葉で伝えて達成感を会得してもらっている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメントの際にはこれまでの暮らしの把握にも努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	様子観察や記録に目を通すこと日々の様子を把握して職員間の情報交換を行い利用者様の状態把握に努めている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期ミーティングの場面で職員のそれぞれの意見を聞きご家族の意見を踏まえて各入居者様の介護のあり方を確認して行っている	本人・家族の意向や主治医の意見等を把握し、毎月のモニタリングやミーティング時の職員の意見を基に残存機能や習慣に配慮した利用者主体の計画を作成している。ケアの実施状況は「経過記録」「バイタルチェック表」「申し送りノート」等で共有している。基本6か月毎の計画を作成しているが、利用者の心身の状態変化に対しては、随時、実態に即した計画に修正して改善に取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の流れを個人記録に記入してもらい検討が必要な内容には職員同士で話し合いケアプランに反映している</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>当グループホームの特徴を活かした対応を行い必要に応じた外部機関との連携を行っている</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域での行事を見学したり参加する事で地域へ外出する機会を心掛けているが本年は不十分となっている</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>24時間体制でたまクリニックと連携しており状態悪化時はすぐに受診、往診、入院対応しており専門機関への紹介と受診も行っている</p>	<p>本人・家族が希望する医療機関での受療を支援しているが、殆んどの利用者が隣接の協力医療機関を主治医としている。通院受診のほか定期的な訪問診療が実施され、他科受診（眼科等）は家族と連携して対応している。看護師の職員が主となって健康管理を徹底し、協力医療機関との24時間医療連携の体制も構築されて、利用者及び家族の安心に繋がっている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>たまいきクリニックに定期的に受診の体制をとっている。グループホーム内の看護職員を中心にたまいきクリニックと連携をとり緊急、急変時もすぐに報告し指示又は受診を受けるようにしている</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>地連の方と連絡をとりながら情報の交換を行っている。病状の変化時にはたまいきクリニックを介して他院へ相談</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入院の際、看取り介護についての説明を行い理解を得ており重度化、終末期医療においては主治医よりご家族様への説明を行い理解の上で対応している</p>	<p>終末期のケアについては運営規定に明記し「看取りに関する指針」も整備しており、利用開始時に本人及び家族に説明して同意を得ている。重度化した時点で家族及び関係者は、その後のケアに関する十分な話し合いを行って可能な限り希望に沿った支援に取り組んでおり、これまでに多数の看取りを実施している。終末期対応の研修の実施や看取り後の振り返り等で職員のスキルアップや不安感の軽減に努めている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>たまいきクリニックと連携し対応している</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回の避難訓練の実施・防災グッズの管理、避難経路を把握し職員全員の意識を高めるように努める</p>	<p>災害対策については、運営規定に責任者や設備点検、防火教育、基礎訓練、自主訓練等が明記されており、年2回夜間想定を含む災害訓練を消防署の協力を得て実施し、併せて、連絡網や避難経路の確認、防災用品の管理等の自主訓練を行っている。隣接の協力医療機関との協力体制が構築され、災害の報道を基に意見交換するなど日頃から防災への共通認識に努めている。スプリンクラーや緊急通報装置が設置され、懐中電灯、ラジオ等を整備しており、飲料水や食料品は法人本部で備蓄している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	尊敬の念を常に持ち一人ひとりの性格、言動を職員が把握して対応する	利用者の人格や誇りを損ねる事の無いように言葉かけや対応は常に尊敬の気持ちで、意思や残存機能に配慮しながら支援しており、自己決定できるような関わりを工夫し、ミーティング等で意見交換やケアの振り返りを行って状況を共有している。ホームはプライバシーが確保された構造で個人記録等も事務室で管理するなど適切に取り扱われている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の生活の中で本人様の希望や意思を尊重し、出来ることを積極的に行うようにしている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者様の状態を確認し声掛けにてどうしていきたいかをその都度一緒に考えて過ごすようにしている。一日一日を大切に過ごして頂きたいと考えている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	入居者様の個性、好みを大切にしようとしていく。又定期的な訪問理容を活用している		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	刻み食、ミキサー食、とろみ使用など咀嚼、嚥下の状態を考慮しその人に応じた食事支援のあり方を職員で話し合う。又お盆拭き等の手伝いも一緒に行ってもらっている	利用者の何よりの楽しみで関心の深い食事については、形態、栄養バランス、嗜好、旬の食材等に配慮し、差し入れや菜園の野菜も活用して調理しており、片付け等は利用者も一緒に行っている。毎月、協力医療機関と合同で給食検討会が開催され、栄養士による助言や改善が図られている。誕生日や季節の行事食、手作りのおやつなど食事が楽しみとなるよう工夫し、利用者毎に食事や水分の摂取量を把握しプランに沿って口腔ケアも支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の状態に合わせた食事の提供を行い、旬の食材を取り入れながら栄養のバランスを考えている。たまいきりニックと合同で1か月に1回給食検討会を行っている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	声掛けにて毎食後の習慣として行っている。又口腔内の異常や気になることは訪問歯科の時に尋ね必要に応じて治療に入っている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を元に排泄パターンを把握しオムツ使用量の確認を行っている。個々に応じた支援、対応を職員で共有している	利用者の排泄パターンを「排泄チェック表」で把握し、習慣にも配慮しながら昼間は可能な限りトイレでの排泄を支援している。心身の状態に応じた介護用品やケアの方法を、介護計画に反映させて改善に取り組んでおり、おむつやパットの使用量が減少するなどの改善も見られている。便秘の予防に食物繊維や乳製品、水分等の摂取や運動量に配慮し、主治医とも相談して改善に努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘にならない様乳製品を取り入れている。日光浴の対応。必要に応じて医療機関との連携を取っている（適宜緩下剤の処方あり）		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	シャワー浴や入浴をそれぞれの入居者の希望と状態により実施している	週2～3回の入浴を基本とし、排泄時の汚染等には、その都度、清拭やシャワー浴で清潔を保っている。好みのシャンプーや温度、時間、習慣、同性介助等を意向に沿って柔軟に対応し、個浴でゆっくり楽しんでもらい、入浴後は皮膚疾患の手当や水分補給を行っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼食後しばらく経過してから約1時間程度ベッド臥床していただいている。本人の希望によりリビングでしばらく過ごすこともある		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬時間が遅れた時等は医療従事者に連絡を取り服薬方法の確認をしている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	施設周辺の散歩は行っている。レクリエーションを午前中（午後）に行っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>家族からの要望で施設長から許可をもらい外出、自宅での外泊を予定していたが新型コロナ禍の現在は自粛している</p>	<p>利用者の心身の状態や天候等に配慮しながら周辺の散歩や墓参、一時帰宅、外食等を家族の協力を得ながら取り組み、また、季節の花見、ドライブ、買い物などホーム全体での外出も計画してきたが、新型コロナウイルス感染予防のため、現在は、近辺の散歩以外の外出は控えて、生活レクリエーションや趣味への取り組みなどの工夫で利用者のリフレッシュを図っている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>現在お金の所持や使うことを望んでいる方は居られない。御家族より預かり金を保管している</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>本人が不穏になっている時は職員から家族へ電話をかけ近況について職員が伝えた後に会話をしてもらっている</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>行事がある時はその前にリビング等の飾り付けを職員が行っている</p>	<p>玄関、リビング等の共有スペースは、明るく開放感に満ちており、季節の活花、ぬり絵等利用者の作品、絵画等が飾られ、台所からは調理の音や匂いが伝わるなど、家庭的で和やかな雰囲気である。清掃や整頓、空調、衛生管理等を徹底し、人間関係にも配慮して座席を決めるなど、利用者の快適な生活に向けた対応に努めており、利用者は好みの場所で四季を感じながら平穩に過ごしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>食事の時は指定されたテーブル席に座ってもらっている（入居者様の関係性により）</p> <p>利用者が希望される時は話したい方の隣の席に誘導している</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>自宅に置いてあった机や引き出しを居室に持って来られている利用者様も居られる</p>	<p>居室はフローリングに腰高窓の構造で明るく、エアコン、ベッド、タンスが利用者の状態に配慮して設置しており、落ち着いて暮らせる環境となるように、意向に添って整理整頓を支援している。利用者は愛着のある使い慣れたテレビや小家具、家族写真、遺影、小物等を持ち込み自身の作品や誕生祝の手紙等も飾って、その人らしい居心地良く過ごせる雰囲気になっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>塗り絵をする利用者様の作品をリビングの壁に飾ったり、日付カードを貼ったりしている</p> <p>洗濯物を畳んだりしてもらいその人の残存能力を活かしている</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
		○	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない